第 11 回 「迷い人」捜索訓練を開催しました！！

毎年行われている捜索訓練。この日を迎えるために長尾校区は話し合いや研修を重ね準備してきました。

話し合いの結果　今年は新しい取り組みに挑戦することになりました。✨

㊖取組み①　もしもの時を体験するために、今年の迷い人は、地域住民の知らない人にすることにしました。

参加当日、小倉南区地域包括支援センターから保健師さん、小倉南区のボランティアグループ小倉南「サポーターズ」から2名のボランティアさんが、迷い人として参加してくださいました！！

地域の方に見つからないように市民センターの 2 階にこっそり上がり、井下会長と打ち合わせをします。

迷い人用の写真撮影も行われました。

地域を3ヵ所に分け、それぞれ迷い人を捜索するための打合せをします。

㊖取組み②　今年から始まった長尾校区ウェルクラブの児童（子供の福祉の心を育む取り組み）も参加します。

長尾小学校　大人形校長先生も参加してくださり、迷い人の運営委員長　高齢者施設

ふれあい家族の野村施設長も一緒で、とっても心強いです。

取組み③　各ポジションの担当者だけにラインで迷い人の写真を送ります。捜索時間は、約1時間。

捜索するルートを皆で打合せ。ルートに分かれていざ！捜索開始です。

迷い人には、駆け寄って話しかけてたりはしません！！優しく声かけをすることを事前研修で学びました。迷い人を発見したグループは、市民センターに集まります。

市民センターでは、運営委員　増井さんが、発見したグループのリーダー、発見した人、

迷い人役の人にインタビューをします。

「すぐ見つけられた！」「迷い人のまえを素通りしそうになった」

「迷い人っぽくうろうろしてみました」「みつけてくれてよかったです～」（笑）

などたくさんの声をいただきました。

今別府館長が、ウェルクラブ活動とは児童の福祉の心を育む活動であり、長尾校区では、社協と市民センターでこの活動を支援していくことを説明しました。✨

ウェルクラブ児童たちから、初めての参加と体験にドキドキしながら、地域の方たちと交流できたことや、捜索訓練の必要性を感じたことなど感想を聞くことができました。

児童たちが一生懸命話をする姿とみて、みんなほっこり❤️

実行委員会が、迷い人が地域で出たことを想定して、迷い人捜索マニュアルやラインを活用した連絡網つくりなどの必要性を感じたと、次への取り組み課題と想いを話してくれました。

反省会の後は、地域の方たちが作ってくれた、

カレーをみんなでいただきます。🍛

迷い人役の方たちも一緒、カレーを食べていただき、交流ができました。寒い中参加いただき、ありがとうございました。

長尾 SOS ネットワークの方々、カレーを作ってくださった地域の方々　お疲れさまでした。✨✨